電算NEWS
INNOVATION
イノベーション（革新）は、電算システムの社是のうちの一語です。

令和3年
1月29日号　Vol.155

編集発行
株式会社　電算システム　総務部広報チーム
岐阜市日置江1丁目58番地（058）279-3456

春を呼ぶ「ロウバイ」（2月中旬頃まで楽しめます）

岐阜市梅林公園にて（撮影：後藤 直子）

謹賀新年

2021年度 第55期事業方針

売上高1000億円企業グループへの挑戦 ～Challenge1000～

当社グループは、昨年までの「PLAN2020」に続く新たな長期計画として、現在の売上を倍増し今後7年（2021年～2027年）で年間売上高1000億円を達成するという新たな挑戦「Challenge1000」を宣言します。

企業の発展は「売上」であり、売上が全ての根源であり、利益増大の源泉です。激しさを増す競争を勝ち抜き生き残るのは「規模の増大」が必至です。

売上増がキーポイントですが、幸いにも昨年PSI社を子会社化し、半年間（7月～12月）売上に貢献していただきました。今年以降は年間を通じて貢献が期待されます。事業においてもPSI社はセキュリティの会社であり、フォーティネット社、ダークトレイス社、チェックポイント社など米国、英国、イスラエル等の世界最先端のセキュリティ事業者の一次代理店です。

当社の多数のお客様にも導入されており、またグループ企業をはじめ電算システムのすべての事業部に関係し、シナジー効果も大きなものがあります。

また昨年は100万株を増資し、約33億3千万円の資金を集めることができました。これもひとえに皆様のおかげと感謝申し上げます。増資で得られた資金は、PSI社のM&A（企業の合併・買収）のほか、昨年11月の東濃データセンター増築にも充てさせていただきました。将来発生するであろうM&Aにも資金を充当する予定です。

経営理念「新しい価値の創造」（顧客の感動、社員の幸福、株主の満足）に基づき、今後一層加速するデジタルトランスフォーメーション（DX）、AI、5Gに象徴される技術革新とITマーケットの変革に対応するため「Challenge,Innovation,Speed」の更なる強化を実行します。

当社には誇るべき
イノベーションがある。
そのイノベーションを楽しむには
まず行動を起こすこと。

各事業部の基本方針

決済サービス事業部
「ＤＳＫ後払い」の取扱い拡大と、新たな売上収益源の創出

決済イノベーション事業部
- 国際送金…ＷＣ取扱い店舗開拓継続と、ＣＶＳ送金件数の下支え
- 収納窓口…パートナー企業との連携強化に拠る、マーケット拡大

ＢＰＯ事業部
「現在（いま）」を伸ばす、「未来（つぎ）」を創る（Ｇｏ Ｔｏ ２０２７）

決済業務センター
- 広域ＩＰ網通信対応ならびに販売管理・資金管理システムの対応準備
- 日次運用・事務センターの安定、ＢＣＰ対応レベルの向上

ＥＣ海外戦略室
ＣＢＣＩを中核パートナーとする新規事業の創出

システムサービス事業部
- 得意業務・得意技で事業拡大
- サービス化の推進
- 組織の活性化

オペレーションサービスセンター
- 事故の削減・撲滅
- 生産性の向上

カスタマーサービス事業部
- 医療介護ビジネスを飛躍的に向上
- 分野を問わず新規顧客開拓
- 新たな開発基盤への挑戦

プランニングサービス事業部
- 増設した東濃ＩＤＣの営業強化
- ストックビジネスの確実な獲得
- 新たなビジネスモデルの創出

クラウドインテグレーション事業部
- Ｇｏｏｇｌｅクラウドサービスで日本一を目指す
- セールスイノベーション（営業戦略）でカスタマーサクセスを実現する（「顧客の創造」を実践する）
- データ分析サービス他ＤＳＫオリジナルのクラウドサービスを提供する
- ＧＩＧＡスクールを足掛かりに教育分野向けＩＣＴ事業を展開する

システムインテグレーション事業部
- 基幹系システム分野に集中、従来のビジネスの見直し、再構築する
- ＷＨＩ（Company）パートナー事業を推進、人事給与サービス事業を拡大する
- 主要顧客との持続的取引拡大に取り組む
- 新規事業（オリジナル製品・サービスの開発投資）に着手する

セキュリティ事業部
- ＰＳＩ社を大きく成長させ、セキュリティ事業をＤＳＫグループの柱の事業にする
- 「ＡＩクラウドセキュリティ」分野に集中する
- 海外最先端技術・製品の取扱いを開始する
- セキュリティ及び周辺分野における戦略的Ｍ＆Ａを実行する

事業本部長 新年抱負

取締役副社長執行役員 ICTイノベーション事業本部長 髙橋 譲太

今年はデジタル化とビジネス変革が更に加速、当社ビジネスチャンスも拡大します。

リモートでもお客様と密なコミュニケーションで一層の信頼関係構築に努めます。

（東京本社）

取締役副社長執行役員 ECソリューション事業本部長 松浦 陽司

日々変化を続ける決済分野において、「決済に強い電算システム」のブランドイメージ構築に向け邁進してゆきたいと考えております。

（岐阜本社）

専務取締役執行役員 IT営業本部長 杉山 正裕

本年は「デジタルトランスフォーメーション（ＤＸ）」が飛躍的に進むと考えます。新しい価値の創造に向け邁進してまいります。

（名古屋支社、東濃IDC）

専務取締役執行役員 IT開発本部長 小林 領司

大きな変化が訪れています。この変化を確実に捉え、ＩＣＴを活用した新たな価値を提供できるようチャレンジしてまいります。

（大垣テクノセンター）

堺市上下水道局に「PAYSLE（ペイスル）」・「PayPay（ペイペイ）（オンライン）」を提供

PAYSLE導入は自治体初 水道料金収納業務のデジタル化を推進

当社は、堺市上下水道局に、全国の自治体では初となる電子バーコード決済サービス「ＰＡＹＳＬＥ」の提供、キャッシュレス決済サービス「ＰａｙＰａｙ」を利用したオンライン決済サービスの提供をそれぞれ開始いたします。

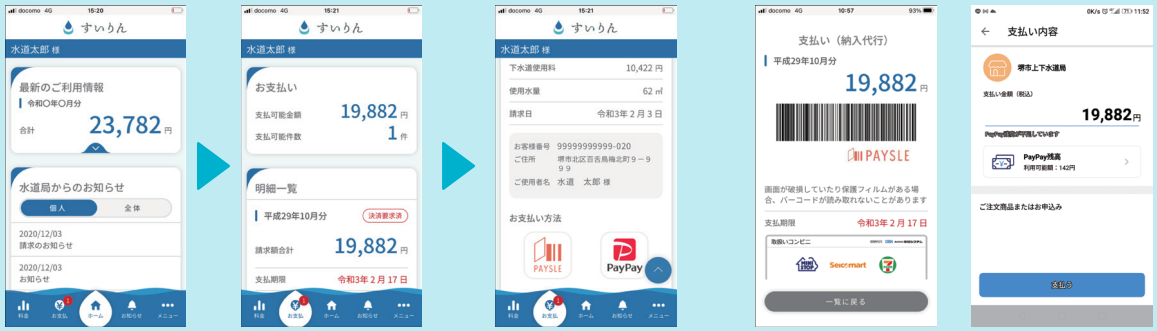
多方面でデジタル化推進が加速する中、当社の収納代行サービスと日本電気株式会社（ＮＥＣ）が提供する「水道窓口クラウドサービス」が連携することにより、水道料金請求業務および水道料金支払いのデジタル化を実現しました。

２０２１年２月１日以降、利用者は堺市上下水道局スマートフォンアプリ「すいりん」を通して「ＰＡＹＳＬＥ」を利用したコンビニ店頭での支払い、および「ＰａｙＰａｙ」に事前にチャージされた残高から上下水道料金の支払いができるようになります。

利用者の利便性向上に加えて、納付書発行・郵送コストの削減、コンビニ側の収納事務・管理等の効率化、さらに新型コロナウイルス対策として人と人との接触を最小限とする仕組みを実現しました。

当社は今後、他の自治体様や事業者様に対しても「ＰＡＹＳＬＥ」「ＰａｙＰａｙ」を積極的に推進していくとともに、より便利な決済サービスを提供してまいります。

「すいりん」を利用した決済イメージ



ホーム画面　決済画面　支払方法選択　PAYSLEでコンビニ支払い　PayPayでお支払い

ベストプラクティス企業に選定

当社はこのたび、過重労働解消に積極的に取り組み、効果を上げているベストプラクティス（※）企業として選定され、岐阜労働局長様による職場訪問を受けました。

※課題の克服や問題解決のための優れた実践例、優良事例のこと

当社では、働き方改革の一環として以下のような取り組みを行ってきました。

1. 毎月開催するコンプライアンス委員会において、労働時間の状況について情報共有の上、各事業部で課題や対策を検討
2. ＲＰＡ（ロボティック・プロセス・オートメーション）を導入することで業務の効率化を図り、作業時間を大幅に削減
3. 管理職による残業時間・有給取得状況の管理の徹底
4. 各従業員から年次有給休暇取得予定を提出させ、取得が進まない従業員に対して取得促進を指導

これらの取り組みによって、岐阜本社において過去５年間で時間外労働時間が年間１人当たり49・５時間減少し、年次有給休暇取得率が10・９％アップしています。

田中社長、従業員代表との意見交換等の予定を終えた後、局長様からは「コンプライアンス委員会で検討した対策が現場に浸透している。今後も、描いたことを現場でどう活かすかを常に意識していただき、長時間労働の解消を含めた働き方改革の実現に向け、一層の取り組みをお願いします。」とコメントをいただきました。

コロナ禍により今までにない対応を求められる状況ですが、今後も従業員にとって働きやすい職場となるよう改善を続けてまいります。

ワークマネジメントツール「Asana（アサナ）」［クラウドインテグレーション事業部］

リモートワークでもチームの生産性アップ

当社は２０１９年10月より、日本初のＡｓａｎａ（アサナ）の代理店となりました。

Ａｓａｎａは、世界的に高い評価を得ており、タスク管理・ワークマネジメントツールの筆頭と位置付けられています。

当社では特に以下の３点を評価しております。Google Workspaceなどのクラウドサービスとの親和性の高さ、使いやすさ、そして業務効率化へのインパクトです。２０２１年１月現在、日本特殊陶業様、ビットバンク様など、業種問わず幅広いお客様にＡｓａｎａをご活用いただいております。

Asana 導入企業

avex　MAVIE Organic Wine Since 1998
andesign　bitbank
株式会社 俳優座劇場　star
NGK スパークプラグ　NTK ニューセラミック　日本特殊陶業

2021年1月現在

Ａｓａｎａは、仕事の調整、業務の見える化、目標達成を支援します。お客様からは「部署の仕事の状況が不透明だ」「期日のある仕事を整理できない」などのお悩みをよく耳にしました。こうした問題を解決するのがＡｓａｎａです。

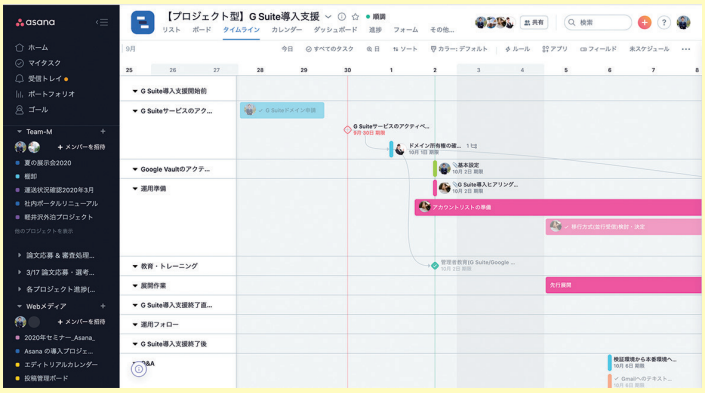
社内の仕事は部署を越えて見える化・共有され、業務全体の進捗が明らかになります。さらに、個人の仕事と組織の業績や目標との結びつき可視化することも可能です。こうしたプロセスを経て、目標達成の意識が醸成され、チームの結束感・貢献心は自然と育まれるでしょう。導入後のお客様から「自分の仕事と組織の関わりが明確になった」「目標達成を意識するようになった」といったコメントだけではなく「仕事のスピードが上がった」「コロナ禍でのリモートワークに欠かせない」などの嬉しい声が届いております。

２０２１年以降、Ａｓａｎａは国内のみならず世界的に存在感を高めていくと見込んでおります。クラウドサービスが市民権を得た現在、仕事に必要な情報を適切にまとめ、見える化・調整する手段が求められているからです。

当社はGoogle Workspaceを中心としたクラウドサービスにおいて数多くの導入実績があるだけでなく、自社内の一部業務でもＡｓａｎａを本格的に使い始めています。この知見を元に、お客様の業務効率化や働き方の変革を支援し、新たな価値創出に取り組んでまいります。

asana

タイムラインビュー



期限やタスク間の関係が見やすくプロジェクトの全てを視覚化できる

ボードビュー

セクション間でタスクを移動し付箋のように整理できる